



2026年3月31日

各 位

会社名 株式会社 CINC
代表者名 代表取締役社長 石松 友典
(コード番号：東証グロース 4378)
問合せ先 経理財務部長 森田 栄一
(TEL：03-6822-3601)

Keywordmap にて GEO/LLMO 機能「AI 検索結果レポート (β 版)」の 提供開始のお知らせ

当社が開発・提供する SEO ツール「Keywordmap (キーワードマップ)」にて、AI 検索最適化 (GEO/LLMO) を支援する新機能「AI 検索結果レポート (β 版)」の提供を開始しましたことをお知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以 上

GEO/LLMO 機能「AI 検索結果レポート (β 版)」を Keywordmap がリリース！ ChatGPT や Gemini など主要 AI における自社ブランドの言及シェアを可視化～数千規模のプロンプトを一括分析し、AI 時代の「選ばれる理由」と「引用元ドメイン」を特定～

株式会社 CINC（本社：東京都港区、代表取締役社長：石松友典、以下 CINC）は、自社で開発・提供する SEO ツール「Keywordmap（キーワードマップ）」において、AI 検索最適化（GEO/LLMO）を支援する新機能「AI 検索結果レポート (β 版)」をリリースいたしました。本機能により、ChatGPT や Gemini といった主要な生成 AI が、特定の質問（プロンプト）に対する回答において、「どのブランドに言及しているか」「どのドメインを引用しているか」を大規模に調査・分析することが可能になります。

本機能により、ChatGPT や Gemini といった主要な生成 AI が、特定の質問（プロンプト）に対する回答において、「どのブランドに言及しているか」「どのドメインを引用しているか」を大規模に調査・分析することが可能になります。

The graphic features the Keywordmap logo at the top left, consisting of a stylized 'K' made of colored circles and the text 'Keywordmap'. Below the logo, the text reads '数千プロンプトを一括分析し GEO/LLMO対策を支援' (Analyze thousands of prompts at once to support GEO/LLMO strategies). The main headline is 'AI検索結果レポート β版 をリリース' (Release AI Search Results Report β version). At the bottom left, it says 'Powered by CINC'. On the right, a laptop displays a screenshot of the software interface, which includes a sidebar menu, a main content area with a donut chart, and a table of data. The interface is titled 'AI検索結果レポート (日報)' (AI Search Results Report (Daily Report)).

AI 検索結果レポート (β 版) とは

Keywordmap の新機能「AI 検索結果レポート (β 版)」は、ユーザーの検索行動として徐々に台頭しつつある「生成 AI による情報探索/回答」において、自社や競合他社がどのように扱われているかを定量的に可視化する GEO/LLMO の分析機能です。

当機能では、単一の回答抽出にとどまらず、数千件規模の大量のプロンプトに対する回答結果を一括で取得可能です。ChatGPT や Gemini といった生成 AI ごとに異なる言及の傾向や、AI が回答の根拠とし

ている「引用ドメイン」のランキング、ブランドごとの言及シェア（Share of Voice）を算出することで、AI 検索最適化（GEO/LLMO）戦略の立案を支援します。

AI 検索結果レポート（β 版）の主な機能

- ChatGPT / Gemini / Perplexity / AI Mode の回答分析
- 言及シェア（占有率）の可視化
- 数千プロンプト規模の一括データ取得・CSV 出力

※Google の検索結果上に表示される「AI Overviews」については、Keywordmap の既存機能である「AIOs 出現レポート」にて取得可能です。

SEO から AI 検索最適化（GEO/LLMO）へのシフト：開発の背景

生成 AI の普及に伴い、ユーザーの検索行動は「検索エンジンで探す」から「AI に答えを聞く」へと変換し始めています。これに伴い、検索エンジン最適化（SEO）と併せて AI 検索最適化（GEO/LLMO）に取り組む企業が増えました。その一方で、マーケティング現場では、AI 検索への対策において以下のような課題が顕在化するようになってきています。

- **現状把握の困難さ**： 自社サービスが AI によって推奨されているか、どの程度の頻度で言及されているかを定量的に把握する手段がない。
- **比較分析の限界**： 手動で一つひとつ AI に質問して回答を確認するのは膨大な工数がかかり、数千件規模のプロンプト（質問）調査は現実的ではない。
- **戦略の不透明性**： AI に引用されやすいドメインや、競合とのシェア差分が分からず、どこを指して、どんな対策（GEO/LLMO）を打てばいいか分からない。

これらの課題を解決し、各生成 AI の回答内で「選ばれるブランド」になるためのデータドリブンなアプローチを実現するため、本機能の開発に至りました。

新機能の主なポイント

「AI 検索結果レポート」は、AI 検索時代の Web マーケティング、および AI 検索最適化（GEO/LLMO）をサポートする以下のような活用が可能です。

① 主要な生成 AI の回答結果を一括取得・一覧化

AIモデル	プロンプト	言及ブランド	引用ドメイン	自社含む	競合含む	回答確認
Gemini	私はSEOの知識が浅いマーケティング担当者です。競合サイトの動きを把握したいので、おすすめのSEOツールを価格別で教えてください。	serp spark opticrawl linkbooster	-	-	○	全文を見る
Gemini	私はSEOの知識が浅いマーケティング担当者です。競合サイトの動きを把握したいので、おすすめのSEOツールを使いやすさ別で教えてください。	キーワードマップ serp spark opticrawl ranklift linkbooster	keywordmap.jp ranklift.io linkhunner.in もっと見る	○	○	全文を見る
AI Mode	私はSEOの知識が浅いマーケティング担当者です。キーワード選定を効率化したいので、おすすめのSEOツールを使いやすさ別で教えてください。	serp spark opticrawl	keywordmap.jp	○	○	全文を見る
AI Mode	私はSEOの知識が浅いマーケティング担当者です。キーワード	serp spark opticrawl	keywordmap.jp	○	○	全文を見る

ChatGPT・Gemini・Perplexity・AI Mode の回答内容をリスト化

ChatGPT、Gemini、Perplexity、AI Mode の 4 つの生成 AI における回答内容をリスト形式で取得できます。数千件規模のプロンプトを一度に処理できるため、広範なプロンプト群に対する AI の反応を網羅的に把握できます。

- メリット： 推奨されるブランドや引用されるドメインの違いといった、各生成 AI の回答の傾向を一度に比較でき、それらの特性を可視化することが可能です。

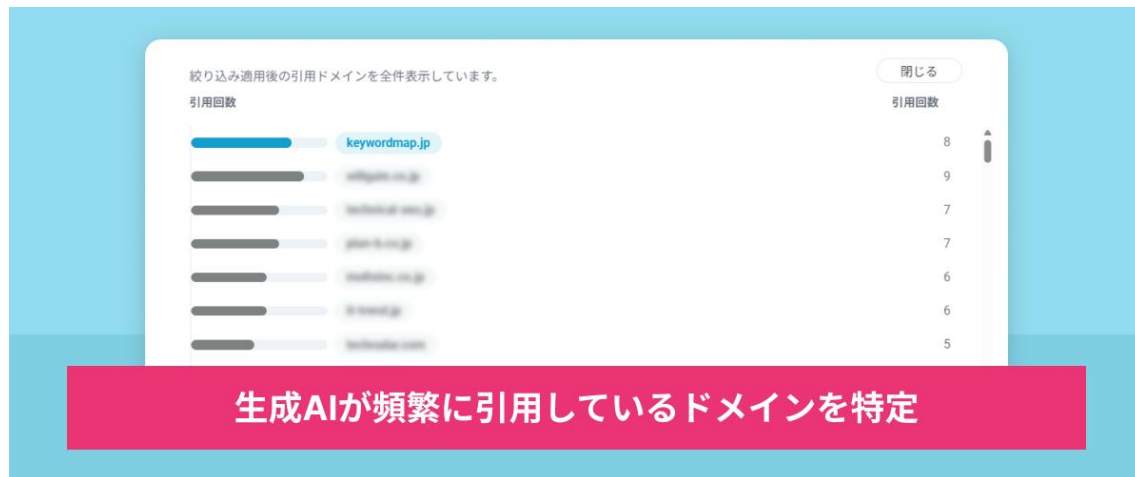
② 言及・引用データのランキング化とシェア可視化



回答内で「どのサイト（ドメイン）が情報源として引用されたか」「どのブランド名（サービス名）が登場したか」を集計。自社と競合の引用回数、および言及回数を比較し、AI 内での認知シェアを可視化します。

- メリット： 自社の推奨度が競合に負けている領域/分野/トピックを特定することで、より強く訴求していくべきサービス・ブランドの特徴や、重点的な対策ポイントを明確化します。

③ 引用されている有力なドメインの特定



特定のテーマやプロンプトにおいて、AI が回答のソース（根拠）として頻繁に引用しているドメインを特定できます。

- メリット： 自社ブランドが AI に言及されるために、どの媒体（ドメイン）に情報を掲載・露出させるべきかという、具体的なプロモーション戦略、およびパブリシティ戦略の優先順位をつけることが可能です。

④ 詳細な多角分析と CSV 出力

「生成 AI 別」「ブランド別」「ドメイン別」など、多角的な切り口で回答を集計・分析が可能です。また、データは csv 形式でダウンロードすることができます。

- メリット： 分析データを CSV で出力することで、社内の既存レポートへの組み込みや、AI による言及シェアの推移の記録など、独自の高度なデータ活用が容易になります。

AI 検索結果レポートの活用イメージ

- SEO 担当者・コンテンツ制作者

AI が信頼している外部ドメイン（引用元）を特定。自社サイトのコンテンツ制作だけでなく、どの外部メディアへ記事を寄稿・露出させるべきかの優先順位付けに活用し、AI に言及してもらうための多面的な土台作りをサポートします。

- ブランドマネージャー・広報担当

特定の 카테고리や関連プロンプトにおいて、自社と競合がどの程度の割合で AI に推奨されているかを数値化。ブランドの「AI 内認知度」を客観的な指標として評価に活用します。

- 広告代理店・コンサルタント

クライアント企業の AI 検索最適化（GEO/LLMO）の現状を数千件規模のデータで診断。どのプロンプトで競合にシェアを奪われているかを可視化し、具体的な改善提案の根拠として利用します。

Keywordmap（キーワードマップ）について

膨大な数の検索結果、自社・競合・他あらゆる Web サイト、リスティング広告のデータをもとに、競合調査・キーワード選定・AI ライティング・効果計測など、SEO・コンテンツマーケティングを支援する機能を備えたツールです。2016 年のリリース後、業種・業界、事業規模を問わず、Web 集客を推進する幅広い企業様にご活用いただいています。

URL : <https://keywordmap.jp/>

■Keywordmap の受賞歴



Keywordmap は法人向けの IT 製品・クラウドサービスのレビューと資料比較ができる国内最大級のプラットフォーム『ITreview』において、毎年発表される Best Software in Japan を 2 年連続受賞しております（2025 年度：58 位、2024 年度：41 位）。

BOXIL SaaS AWARD Summer 2025



また、SaaS 比較サイト『BOXIL』においても、Good Service を受賞し、あわせてお役立ち度、機能満足度の両部門で No.1 を獲得するなど、多くの方々から高い評価をいただいております。

■ 関連メディア「Keywordmap ACADEMY」

デジタルマーケティングの基礎知識・最新情報が学べるメディアです。

URL : <https://keywordmap.jp/academy/>

< ツール・サービスに関するお問い合わせ先 >

株式会社 CINC Keywordmap 事務局

mail : km_cs@cinc-j.co.jp

【会社概要】

「マーケティングソリューションで、日本を代表する企業へ。」をビジョンに掲げ、ビッグデータの活用を強みとした Web マーケティングのツール開発からマーケティングコンサルティングを展開しています。独自のデータ収集技術、AI・機械学習技術と、データ解析の知見を基に、誰もが・短時間で・簡単に・高度なビッグデータ解析ができるツールの開発・提供、プロフェッショナルが戦略立案から実行支援まで一気通貫で伴走するマーケティングコンサルティングの提供を通じて、クライアントのビジネスの成長に貢献します。

会社名：株式会社 CINC（シंक）（東証グロース 証券コード：4378）

代表者：代表取締役社長 石松友典

設立：2014年4月

本社：東京都港区虎ノ門1丁目21-19 東急虎ノ門ビル6階

事業内容：

- (1) ソリューション事業
- (2) アナリティクス事業
- (3) M&A 仲介事業 (株式会社 CINC Capital)

会社ホームページ：<https://www.cinc-j.co.jp>

採用情報：<https://www.cinc-j.co.jp/recruit/>

運営メディア「Marketing Native」：<https://marketingnative.jp/>

Tech Blog：<https://cincdevteam.hatenablog.com/>